

複製画使用報告書

使用 者	機 関（学校名）：茨城県立水戸高等特別支援学校 職・氏名：教諭 坂場 雪華	
使用 期 間	令和5年5月29日（月）～令和5年7月7日（金）	
使用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実物サイズの複製画を鑑賞することで、名画に対する興味関心をたせる。 ○ 実物を身近に触れることで、作者の考えや細かい描写にまで目を向け、より深く鑑賞する力を高め、創造する力を育ませることができる。 	
使用した複製画	点 数	5 点
	作品名	作者名
	笛吹の少年	エドワール・マネ
	接吻	グスタフ・クリムト
	キリスト	マルク・シャガール
	日の入り	クロード・モネ
	ひまわり	フィンセント・ファン・ゴッホ
活 動 名	「名画を鑑賞しよう」	
実施方法（活動の流れ）別添可	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使用しながら作者について触れる。（5人の作家の人生やたくさん作品に触れる）1時間 ・鑑賞しよう（ワークシートをもとに、友達と話し合いながら鑑賞する。）1時間 	
<p>感想等：本校は、軽度の知的障害を有する生徒が卒業後の就労、自立、社会参加のために日々さまざまな学習に取り組んでいます。生徒の実態やこれまでの生活環境の中で生徒が実際に美術館を訪れたり、美術の作品に触れたりする機会が少ないのが現状です。</p> <p>本校では、美術館の複製画を借用し、より本物に近い状態で名画の鑑賞を行うことで美術作品に対する興味や関心、美術館を利用してみたいと思えるような気持ちを育てたいと考えています。年に2回、鑑賞の授業を計画し、3年間を通して様々な名画に触れています。実際に複製画を鑑賞する前に、ひとりひとりの作家の人生や作品に触れ、どんな気持ちで絵を描いていたのか、背景を捉えながら多角的な視点で創造しながら鑑賞をすることができるよう努めました。ゴッホの「耳切り事件」は、生徒たちは強い興味・関心を持ちながらも、ゴッホの気持ちになって共感しながら鑑賞をすることができました。クロードモネの作品は、優しいタッチの描き方が魅力的で、自分の庭を愛し、たくさんの庭が描かれた作品を見て、「モネの庭に行ってみたいな」「フランスに行ってみたいな」と話す生徒もいました。また、鑑賞を通して自分が感じたことを伝えたり、友達の考えを聞きながら多角的な視野をもって絵を楽しんで鑑賞をすることができました。鑑賞を通して、生徒たちの感受性と創造性を育み、人生の中でふとした瞬間に鑑賞した絵を思い出したり、美術館に行ってみようかなと思えるような気持ちを育てていきたいと思えます。</p>		